

生涯現役能力開発大学校事業「生涯現役夢追塾」について		面談年月
北九州市保健福祉局地域福祉部高齢者福祉課		H18年03月
(活動のフィールド) 北九州市およびその近郊地域	「周望学舎」(S54年)、「穴生学舎」(H6年)にて、60歳以上対象の「年長者研修大学校」として、年間コースや短期講座を開講、社会福祉や趣味の分野の生涯学習を実施している。これらに続いて平成18年度に産業活動や社会貢献活動の担い手を発掘・育成する「生涯現役夢追塾」を開塾。	
活動内容		
<p><u>生涯現役夢追塾</u></p> <p>生涯現役夢追塾は、これから高齢期を迎える団塊の世代の方を中心とした世代(50歳以上)を対象に、これまでの公民館講座や年長者研修大学校などの生涯学習講座から発想を転換し、今まで培ってきた能力を眠らせることなく役立て、産業活動や社会貢献活動の担い手として、「生涯現役」で活躍する準備をするとともに、北九州の浮揚のための人材育成を進める塾である。</p> <p>夢追塾の講座は、導入部分である総合コースと、より専門性を深める4つの専門コース(独立を目指す「起業独立コース」、社会貢献を目指す「NPOコース」、技能や経験の伝承を目指す「指導者育成コース」、地域企業の支援を目指す「地域企業支援投資コース」)で構成され、それぞれに必要なスキルを週1度10ヵ月間学ぶ。</p> <p>当塾では、インターンとよばれる企業や現場での実習を含め、専門家による実践的な講座が特徴。</p>		
「都市再生の担い手」として事務局が注目した発言等		
<p>市(行政)は、市民に必要だが民業の無い分野の立ち上げを担い、その分野の民業(NPO等を含む)が立ち上がり、軌道に乗った時点で民業にまかせて手を引き、次の為すべき分野に移る。</p> <p>市民が独学で可能な分野は独学にまかせ、自力で困難な分野を担う。</p> <p>定員割れを気にせず、やる気のある人だけを対象とする。</p>		
写真1... 講座風景(夢探し講座/関満博教授による日本各地で実際に行われている地域戦略と高齢者の活用を踏まえ、これからの高齢者のあり方を講義)	写真2... 講座風景(自分探し講座/自分の強み、弱みの発見だけでなく、各人のケースを用いながらグループによるディスカッションも行う)	写真3... 講座風景(コーチング講座/グループに分かれ、実践的なコーチング体験を行う)
		

インタビュー概要

《活動内容についての説明》

活動の経緯・位置づけについて

- ・鉄鋼産業衰退による高齢化(若手流出)により市の危機意識は高い。
- ・北九州市は政令指定都市の中で高齢化が最も進んでいる。また、市長の公約に生涯現役型社会の環境づくりとして高齢者の自己研鑽、自己実現による社会参加があり、この夢追塾は、この一環として行っている。
- ・H15年から高齢者のネットワークによるまちづくりについて検討している。
- ・策定中の「北九州市ルネッサンス構想まちづくり推進計画2010」に位置づけるべく、保健福祉分野のマスタープランとして「健康福祉北九州総合計画」を策定中。高齢者分野、障害者分野、子育て分野の3分野からなり、高齢者分野の計画として「北九州市高齢者支援計画」を策定中。介護保険制度の見直しを睨んだ内容で、3年計画であるが、10年先を見据えた計画とする。
- ・同高齢者分野の計画の「基本目標」の一つが「生きがいのあるシニアライフの実現」。その「施策の方向性」の一つとして「生涯現役型社会の環境づくり」があり、「基本的な施策」として「自分らしく働くための基盤づくり」と「ボランティア・NPO 活動の促進」が位置づけられている。(「生きがいのあるシニアライフの実現」のもう一つの「施策の方向性」は、「いきいきとやりがいを持って暮らせる環境づくり」(高齢者の積極的な地域活動に促進、趣味・サークル活動等の促進))
- ・基本的な施策「自分らしく働くための基盤づくり」として、「生涯現役夢追塾」、「コミュニティビジネス推進事業」、「高年齢者雇用環境づくり事業」、「シルバー人材センター運営補助事業」など、各部局が実施していく。
- ・生きがいのあるシニアライフの達成により、高齢者が社会的な役割を果たしていく地域社会を実現するとともに、若者に不安のない将来像を示すことで魅力ある地域を実現し、好循環としたい。

既設の市民講座について

- ・北九州市の施設として、「少年自然の家」の大人版に相当する大学校「周望学舎」(S54年設置。宿泊施設有り)と「穴生学舎」(H6年設置。スポーツ用全天候ドーム有り)を有しており、施設は現在、北九州市社会福祉協議会に管理委託している。公共が生涯学習専用施設を持っているのは珍しい。
- ・同施設では60歳以上を対象として、「年長者研修大学校」として年間コースや短期講座を開講し、コミュニティリーダーや地域福祉などの「一般コース」や家庭菜園などの「実技コース」といった社会福祉や趣味の分野の生涯学習を実施している。

生涯現役夢追塾の役割について

- ・年長者研修大学校設置当時は民業が存在しなかったが、現在ではカルチャースクールのような民業が成長し、公共が直接担う分野としては収束しつつある。「生涯現役夢追塾」のような民業は現在存在しない事業も、いずれ民業として成立するようになったら収束させる。
- ・「生涯現役夢追塾」は、定年前の50歳以上を対象とし、退職後も生涯現役として、その技術や経験を生かし、産業活動や社会貢献活動などの担い手として活躍していく人材の発掘と育成を行う。

生涯現役夢追塾の方針について

- ・定年後の活動を分類したところ、「個人の充足(自己投資型)～社会貢献(社会還元型)」の軸と「心の満足(精神性)～利益追求(経済性)」の軸で分類でき、「社会貢献&利益追求」象限に空白域が見られた。(専門能力を活かしたボランティア・NPO活動や、起業・就業などの分野)
- ・このため、行政として支援すべき方向性として、「豊富な経験とノウハウを生かし、次世代の指導と育成の任を担う」、まちづくりリーダー、地域経済活性化リーダーの育成支援を行うこととした。
- ・来年度(H18年度)6月開講で、年間コース5万円とし、生涯現役を目指す意欲あふれる人のみ入学を認

める。(書類・面接試験により、気概や能力等を評価し、定員割れにこだわらずに入学をお断りする。)

- ・面接で厳選する「生涯現役夢追塾」(定員 90 名。当初は実質定員 60 名を想定。15 名程度のクラスとする)の他、一般公募の「フォロアーセミナー」(300 名。イベント参加(年 4 回予定))を開講するが、受講者の一部は興味を持ち、次年度以降の「生涯現役夢追塾」に進む可能性があることを期待する。
- ・講義終了後に自主的に懇親会等を行い、交流・意見交換など人脈づくりや協調の機会を設けようと考えているため、講義時間を 18:30～20:00 としている。
- ・現場との結びつきや実践を重視しており、講師は現場の企業人、NPO、投資家などにもお願いしている。(学長は北九州市長) (書物による学習は自力で可能なので、実践を重視。)
- ・インターンシップにより、実践とマッチング、人脈づくりなど、実務に必要な要素を提供。

生涯現役夢追塾への期待

- ・高齢者の起業により魅力ある地域とし、「ターン」のようなことに結びつくと更によい。移住者向けに住宅ともパッケージを組みたい。
- ・3年後には、市の直営でなく、NPO による運営を目指す。当塾から巣立った塾生による NPO や当塾を支援してくれた NPO が担ってくれる形を期待。

その他

- ・68～69 歳くらいを境に高齢者の考え方・価値観が明らかに違っていると感じる。
- ・「老人とは何歳からか」については、若いうちは低めの年齢の回答が返ってくるが、加齢するにつれ徐々に上昇する(自分の年齢は「老人」ではないという認識)。しかし「老人とは 80 歳以上」で上昇が止まり、80 歳を越えた人からも「老人とは 80 歳以上」という回答が返ってくる。